



AOMORI ARTS COUNCIL



あomorいアーツカウンシル

ACTIVITY REPORT

令和2 令和4
2020～2022

事業報告書

目次

事業概要 2020-2022

※2017-2019 事業概要については前号をご覧ください。

2020	令和2年度 あおもりアーツカウンシル 文化芸術創造活動助成事業	感染症拡大防止のため中止
	“創造の場づくり”支援事業 青森市民による版画展「MY DEAR HANGA!」	P01
	映像作品「A-Paradise2020 ～浅虫海岸物語～ボクらが街にできること」	P02
2021	令和3年度 あおもりアーツカウンシル 文化芸術創造活動助成事業	P03
	“創造の場づくり”支援事業：映像作品「あおもりアート&カルチャー NEWS」	P04
	映像作品 ART IN MY TOWN「おうちで A-Paradise2021 ～芽生えの頃、なれる自分へ～」	P05
	イベント「春待つ A-Paradise ～絵本がつなぐしんまちキャンプステージ～」	P06
2022	令和4年度 あおもりアーツカウンシル 文化芸術創造活動助成事業	P07
	“創造の場づくり”支援事業「あおもりアートの種 A-seeds」プロジェクト1年目	P08
	イベント「A-Paradise2022 ～みんなの A を今持ち寄って～」	P09
	イベント「冬の A-Paradise ～ぼくらの創作体験カフェ～」	P10
	★新聞記事紹介／オンラインより	P11/ P12
	★あおもりアーツカウンシルとは／委員紹介	P13



活動年表

2017-2022

2017（平成29）年度

「あおもりアーツカウンシル」に改名
あおもりアーツカウンシル文化芸術創造活動助成事業 公開選考会（6/25 開催）
A-Paradise 事業「A-Paradise2017」（11/18 開催）
“創造の場づくり”支援事業：劇団青森どまんなか やっこい組「なれそめ劇場」（2/1～28 開催）
あおもりアーツカウンシル会議開催（毎月1回）

2018（平成30）年度

あおもりアーツカウンシル文化芸術創造活動助成事業 公開選考会（6/17 開催）
A-Paradise 事業「A-Paradise2018」（9/2 開催）
“創造の場づくり”支援事業 A：八甲田丸サウンド / アートフェスティバル（2/10 開催）
“創造の場づくり”支援事業 B：木戸永二 絵画作品展 & ライブドローイング（2/9～11 開催）
A-Paradise 事業「冬の A-Paradise ～駅前で版画・漫画でお茶しない？～」（2/9～11 開催）
あおもりアーツカウンシル会議開催（毎月1回） / A-Paradise ミーティング（年間13回）

2019（平成31・令和元）年度

あおもりアーツカウンシル文化芸術創造活動助成事業 公開選考会（6/16 開催）
“創造の場づくり”支援事業：青函交流アート事業 展覧会「青い糸」（8/21～25 開催）
A-Paradise 事業「A-Paradise2019」（9/8 開催）
A-Paradise 事業「冬の A-Paradise～青森。雪と君と版画喫茶@アウガ」（2/8～11 開催）
あおもりアーツカウンシル会議開催（年間10回） / A-Paradise ミーティング（年間13回）

2020（令和2）年度

あおもりアーツカウンシル文化芸術創造活動助成事業：募集後に中止を決定 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため
“創造の場づくり”支援事業：青森市民による版画展「MY DEAR HANGA!」（11/25～11/29 開催）
A-Paradise 事業「A-Paradise2020 ～浅虫海岸物語～ボクらが街にできること」（7月～12月制作：YouTubeにて公開中）
あおもりアーツカウンシル会議開催（年間10回） / A-Paradise ミーティング（年間10回）

2021（令和3）年度

あおもりアーツカウンシル文化芸術創造活動助成事業 選考会（6/25 開催）
“創造の場づくり”支援事業：「あおもりアート & カルチャー NEWS」（6月～翌1月制作）
A-Paradise 事業 ART IN MY TOWN「おうちで A-Paradise2021 ～芽生えの頃、なれる自分へ～」(通年で制作：YouTubeにて公開中)
A-Paradise 事業「春待つ A-Paradise ～絵本がつなぐしんまちキャンプステージ～」(3/5～6 開催)
あおもりアーツカウンシル会議開催（年間7回） / A-Paradise 情報交換会およびミーティング（年間26回）

2022（令和4）年度

あおもりアーツカウンシル文化芸術創造活動助成事業 公開選考会（6/26 開催）
“創造の場づくり”支援事業：「あおもりアートの種 A-seeds」プロジェクト1年目（9月～3月実施）
A-Paradise 事業「A-Paradise2022 ～みんなの A を今持ち寄って～」(9/10～11 開催)
A-Paradise 事業「冬の A-Paradise ～ぼくらの創作体験カフェ～」(2/18～19 開催)
あおもりアーツカウンシル会議開催（年間6回） / A-Paradise ミーティング（年間18回）

令和2年度 “創造の場づくり” 支援事業

青森市民による版画展「MY DEAR HANGA!」

目的

青森市民の創作活動および市の版画文化にスポットを当てることで、“版画の街・あおもり”の名のとおり、青森の豊かな版画文化を再確認する機会とする。

効果

市民美術展示館全館に、棟方志功から市民版画家の作品・海外交流作品までを一挙に展示することで、版画の魅力や市の豊かな版画文化を提示することができた。

令和2年11月25日（水）～11月29日（日）

10:00～17:00 ※最終日16:00まで

会場：協同組合タッペン美術展示館

（青森市民美術展示館）

入場料：無料 来場者数：441名

共催：一般財団法人 棟方志功記念館

協力：青森市文化団体協議会、「版画の街・あおもり」実行委員会

1階「THIS IS VERY HANGA!」

青森市出身版画家作品展示



1階には志功、末華、関野の大型作品を展示。
*アンケートより「この企画は素晴らしい!」「なかなか見られない作品ばかりでした。」



○展示作品

- ←棟方志功「追開心経頌」（所蔵：棟方志功記念館）
- ↓棟方末華「ヨーロッパ神殿」
- 関野準一郎「星の紋章」「太陽」（所蔵：青森市）

2階「MY FAVORITE HANGA!」

市所蔵作品展示・版画イベント紹介



↑過去の「冬のA-Paradise：版画喫茶」で生まれたミニ版木



市民版画家、当会委員による市所蔵作品セレクト展示。
*アンケートより「選者の評による観点が示されていた。」「青森の版画の背景を知ることができた。」

○展示作家

- ・山口晴温（選者：当会）
- ・棟方末華（選者：当会委員）
- ・関野準一郎（選者：金子裕子さん）
- ・山内ゆり子（選者：竹林嘉子さん）



3-4階「I LOVE HANGA!」

版画グループ作品展示



○展示グループ

- ・日本版画院青森支部
- ・木々版画クラブ
- ・版画「なたねの会」
- ・華陽会
- *アンケートより「どの作品も気持ちが伝わってきた。」「同級生や同僚、恩師の作品があり楽しんで鑑賞できた。」

4階「WE LOVE HANGA!」

アメリカメイン州との交流版画



棟方志功記念館で所蔵する、メイン州との版画交流作品15点をピックアップ。海外作家の版画カレンダー等も展示。
*アンケートより「メイン州の作家は想像力がある。」

REPORT

市主催の国際的な版画コンクール「AOMORI トリエンナーレ」開催年にあわせ計画（AOMORI トリエンナーレ自体は感染症流行のため中止）。棟方志功をはじめとする青森市出身版画家作品から、現在進行形で創作に取り組む市民版画グループの作品まで、一館まるごと版画を展示し、ダイナミックな展覧会となった。また、棟方志功記念館との共催により、志功作品やメイン州版画交流作品を展示することが実現。市民版画グループや市文化団体協議会の協力のおかげで運営が成り立った。今後も、青森の豊かな版画文化を、次世代に繋げることを目指す。

こちらから視聴できます↓



令和2年度 A-Paradise 事業

「A-Paradise2020 ～浅虫海岸物語～ボクらが街にできること」

目的

コロナ禍でイベントが行えない中、青森の次世代クリエイターを中心に、浅虫という街、青森のアート、音楽の「今」を感じられる映像を制作して発信する。

効果

映像作家や公募キャストを含めた作り手と共に、浅虫地区の「今」を地元のアート・音楽と共に発信できたことで、オンライン特有の記録と表現が可能になった。



構成要素①ショートドラマ

「萌音と悟楼のシーサイドストーリー」



[あらすじ] 青森で高校時代を過ごした萌音と悟楼。萌音は青森の芸術大学へ進学、悟楼は上京してファッション業界へ。久々に帰省した悟楼と、それを迎えた萌音は、浅虫を巡りながら、ふたりの関係に向き合っていく。

構成要素②浅虫紹介ムービー

「けんちゃん散歩 in 浅虫」

観光スポットや気になるお店を、けんちゃん（A-Paradise 部会長）が体験したり食べたり…浅虫の魅力をリアルに紹介！



REPORT

春のロケハンや出演者公募、夏の練習を経て秋冬に撮影～編集と一年を通して制作。浅虫のみなさん、子ども達、地元ミュージシャン、多くの方の協力の元に浅虫を映し出すことができた。

構成要素③アートドキュメンタリー

「ART IN MY TOWN ～浅虫を灯すホテルねぶた」

浅虫ホテル湖にちなみ、「ホテルねぶた」を考案。浅虫のお店のみなさん、地元のみなさんに色付けをしてもらいながら、浅虫の今と昔とこれからのお話を聞いた。あさむしこども園の親子や先生、公立大の学生さんとも一緒にホテルねぶたを作ることができた。



構成要素④ミュージックビデオ

青森ミュージシャンによる浅虫での演奏



12月27日よりYouTubeCH「since 2014 A-Paradise」にて公開

- 撮影・編集期間：7月～12月／主な撮影地：浅虫温泉街・新町通り ● 再生回数：3,760回 ※令和5年4月現在
- ドラマ出演：白石恭也（劇団渡辺源四郎商店）、西村美玲（321.inc所属）、橋下肌、曾我武、エイチロウ
- 音楽出演：THE CLIPPERS (Boogie's TOKYO)、青森最後の詩人ひろや一、ヨコヤマサチコ、紫月、相馬智行
- 街ぶら出演・撮影：高谷憲 ● 街ぶら MA・演出・編集・ナレーション／アートドキュメンタリー撮影・MA・編集：エイチロウ
- アートドキュメンタリー構成：MARU・高谷憲 ● ホテルねぶた制作・指導：工藤友哉 ● 技術提供：HAジメ
- 全体監修：室谷心太郎 ● 宣伝美術：MARU（株式会社ツクリダス代表）
- 撮影協力：青森公立大学経営学部2年生の皆様、浅虫海づり公園、浅虫応援団がっちゃんこ、浅虫温泉 椿館、浅虫水族館、あさむしこども園、移住・交流施設石木邸、woodrack、菊谷餅店、古民家カフェ apricot、circleAOMORI、サンセットビーチ浅虫、スナック五月、スナック五月を愛する皆様、みちのくシェーク、道の駅ゆ～さ浅虫、もりや食堂、タやけ小橋 and more ※敬称略



令和3年度（2021年度）

文化芸術創造活動助成事業

目的

青森の文化的資源の独自性と、文化芸術の持つ創造力を最大限に発揮する先駆的な事業を支え育てる。

効果

障害のある方の展覧会や大型プレス機を使用した版画ワークショップなど実地開催の美術事業の他、オンラインによる朗読やライブの配信等、コロナ禍の中の各事業への助成により文化芸術の活性化に寄与した。

アウトプット展実行委員会 「アウトプット展 2021」



【事業の目的・内容】
◇青森県内特別支援学校の児童・生徒や、福祉事業所あるいは個人で制作している方々の表現を発掘調査し、紹介する。
◇青森県内特別支援学校の共同制作作品や授業で取り組んだ作品、県内福祉事業所で取り組んでいる制作実践を紹介展示。
◇青森県内で優れた創作

を続けている方、ユニークな表現を続けている方の作品を紹介

展示 ◇企画展示を通して、障がいのある方の美術作品の捉え方について問題提起

◇ワークショップ「思考の波をアウトプット」> 講師：石岡有佳子氏（ワークショップデザイナー）◇オンライン講演会「多様な人とともに表現を捉え直す試み」講師：

田中みゆき氏（キュレーター、プロデューサー）

申請金額／20万円 助成金額／199,670円



AIRS 「世界最大級版画プレス機活用の油性1版刷り木版画制作」

【事業の目的・内容】AIRSはACAC開館をきっかけに発足しそこを訪れる作家の制作サポートをはじめ、市内において自主企画による展覧会を開催するなど、ACACと市民を繋ぐことを目的に活動してきた。本事業では、市内にある世界最大級の版画プレス機の活用と、制作した作品を展示・公開することで、「版画の街・あおもり」の取組に資する。◇ACACのワークショップ及び銅版画スタジオにおいて市内で活動している版画家を講師に、彫った板の凸凹面全てにインクをつけることにより1版多色刷りの木版画を制作する。◇制作した作品を市内で展示・公開する。

申請金額／20万円 助成金額／20万円

選考会（6/25開催） ※感染症予防のため公開無し

申請件数：22件

助成件数：4件 ※5件採択後、1件中止

助成総額：799,670円

選定委員：佐藤広野（あおもりアーツカウンシル会長）
杉山潔（同委員）・鳥谷部修（同委員）・沼田祐寛（同委員）・若井暁（外部選定委員）

一般社団法人進め青函連絡船 洞爺丸よ安らかに！ オンラインで追悼する 青函連絡船洞爺丸

【事業の目的・内容】①日本海難史上最大の惨事「洞爺丸事故」から、67年目の2021年9月26日、「洞爺丸遭難追悼集」（洞爺丸遭難者遺族会発行）を元に構成した朗読劇をオンラインで発信する。②洞爺丸を中心に、青函連絡船と郷土史を語り継ぐことをテーマにした鼎談を収録し、オンラインで発信する。③冊子『進め！青函連絡船 vol.3 2021年号～洞爺丸特集号』を発行する。6月：洞爺丸に関する鼎談を動画収録する（青函連絡船メモリアルシップ八甲田丸）／7月：冊子の編集開始／9月：朗読劇を収録する（渡辺源四郎商店しんまち本店2階稽古場）／9月26日：鼎談、朗読劇をオンライン発信する／10月：冊子の編集終了、販売開始

申請金額／20万円 助成金額／20万円



青森 GOTTAMIX 地元アーティストによる無観客ライブ配信



【事業の目的・内容】地元アーティストによるライブをYouTubeで無料公開することで、青森市民および幅広い層に向けて地元の音楽文化を発信する。また、コロナ禍においても持続可能な表現の場となることを目的とする。青森県内で活動しているアーティストによるライブパフォーマンスを青森クォーターからYouTubeで生配信する。イベント名：年末 GOTTAMIX2021

申請金額／20万円 助成金額／20万円



令和3年度 “創造の場づくり” 支援事業

映像作品「あおりアート&カルチャー NEWS」

目的

感染症流行下において、現場での創作活動は個別化していかなざるを得ない状況であるが、オンラインに“創造の場”を生み出すことで、活動者同士のせめてものゆるやかなネットワークづくりを目指す。

効果

オンラインで活動者の魅力や思いを発信する機会を設けたことで、視聴者や関係者同士がそれを受け取り反応できる双方向の関係を作り出すことができた。

YouTube「あおりアーツカウンシル」CHにて公開

【公開日／視聴回数】※R5.4月現在

vol.1：ギャラリークレイドル=R3.7.10 / 655回

vol.2：北東アーティストアーカイブ=R3.8.25 / 373回

vol.3：アウトプット展実行委員会=R3.9.18 / 397回

vol.4：(一社)進め青函連絡船=R3.12.10 / 144回

vol.5：青森 GOTTAMIX=R4.1.26 / 265回

REPORT

各活動について5分のニュース動画を作成。それぞれの想いの発信のきっかけになると共に、市内のコロナ禍の活動をアーカイブとして残せたことは意義があった。

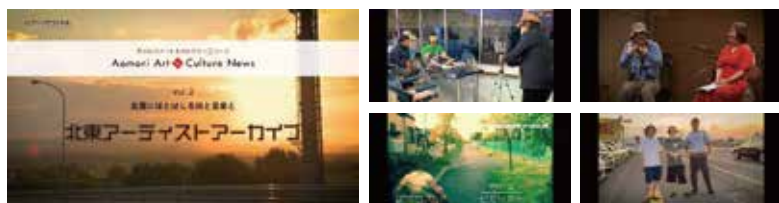
vol.1 ギャラリークレイドル

「青森に新たなギャラリー誕生」



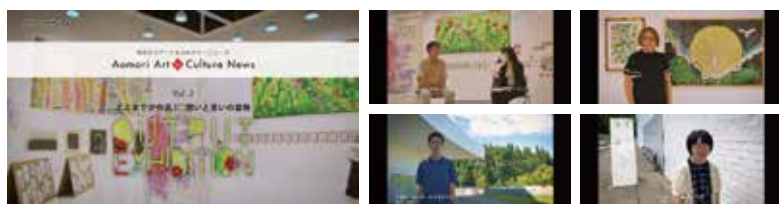
令和3年4月。青森市桜川に新たなギャラリーが誕生。オープニング自主企画「&クレイドル」として、青森版画シーンで躍動する年代も性別も異なる独創的な作家3名が個展を開催した。【出演】高橋忍 (ギャラリークレイドル主宰) / 版画家：竹林嘉子・奥山庸子・橋本尚彦 進行：佐藤広野 (あおりアーツカウンシル会長)

vol.2 北東アーティストアーカイブ 「北東にほとぼしる詩と音楽と」



3人の地元アーティストが立ち上げた「北東アーティストアーカイブ ch」は、主に県内アーティストの演奏や朗読を見られる動画配信チャンネル。コロナ禍で生まれる表現をも記録し続ける。【出演】コスモスチバ・アキ・サミー (北東アーティストアーカイブ)、車椅子の詩人：中村一生 / 進行：張間陽子 (ラジオパーソナリティ)

vol.3 アウトプット展実行委員会 「どこまでが作品？ 想いと想いの冒険」



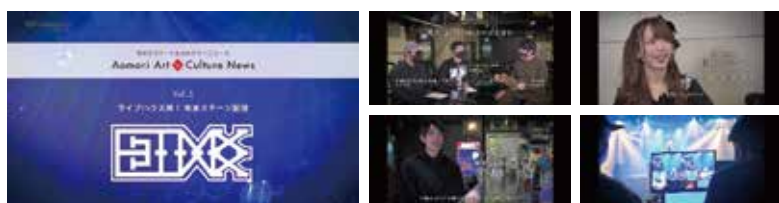
令和3年8月。障害がある方の作品から、生の多様性について考える展覧会「アウトプット展 2021」が開催された。展覧会を始めたきっかけや感じていること、展示アーティストの作品を紹介。【出演】蒔苗正樹 (アウトプット展実行委員) / アーティスト：今恵美子・相坂歩希・平野友愛 / 進行：慶野結香 (あおりアーツカウンシル委員)

vol.4 一般社団法人 進め青函連絡船 「記憶を遺す、記録に残す」



日本海難史上最大の惨事と言われた「洞爺丸事故」から67年。(一社)進め青函連絡船は、物流都市として栄えてきた青森市の歴史を後世に伝えるべく、朗読のオンライン配信を行った。【出演】畑澤聖悟 ((一社)進め青函連絡船) / 女優：木村知子・山上由美子・葛西謙司 (八甲田丸最後の機関長 / 現・メモリアルシップ八甲田丸ボランティアガイド) / 進行：高谷憲 (あおりアーツカウンシル副会長)

vol.5 青森 GOTTAMIX 「ライブハウス発！ 年末ステージ配信」



師走、青森 Quarter より、無観客によるオンライン配信が行われた。コロナ流行の影響を真正面から受けたステージ業界。イベント主催者、出演者、ライブハウス関係者の思いを聞いた。【出演】菊池祐一他 (青森 GOTTAMIX) / 紫月・める子 (SNOWDOME PRODUCTION) 風〜ふう & MORIYUKI / 坂本将幸 (青森 Quarter) 進行：エイイチロウ (あおりアーツカウンシル委員)

こちらから視聴できます↓



令和3年度（2021年度）

映像作品 ART IN MY TOWN

「おうちで A-Paradise2021 ～芽生えの頃、なれる自分へ～」

目的

平常時に開催しているイベントを自粛しながらも、アフターコロナに芽を出すイメージで「ふたばねぶた」を考案し、活動者を取材・発信して応援する。

効果

新型コロナウイルス感染予防対策を行いながら、連携企画を動画コンテンツとして取材・撮影し配信を行うことで、文化芸術を繋ぐ学生や活動者の姿をオンラインで幅広く示すことができた。

総再生回数：1,008回
※令和5年4月現在

映像① プロローグ

【おうちで A-Paradise2021】 ART IN MY TOWN



令和2年度に制作した映像から始まり、いまだコロナが終わらない現状を語る。そして4月のオンライン情報交換会に参加した学生や地域の活動者を取材しようとメンバーが動き出す。

①キックオフ企画「A-Paradise オンライン情報交換会」
4月25日（日）参加者7名

①あおもり子ども劇場「子ども写真ワークショップ」
8月7日（土）10時～12時 合浦公園にて開催
参加者17名（親子）+講師・スタッフ8名

②大学サークル・地域活動者の取材等
8月12日（木）青森中央学院大ねぶた囃子方部
8月25日（水）・9月25日（土）MOS×青森大学生
10月25日（月）青森中央学院大アカペラサークル
10月30日（土）「浅虫のWA」（青森公立大主催）

③学生団体 確原色「プレ10周年記念オンライン配信」
12月19日（日）BLACK BOX より配信
出演者25名（高校生+A-Paraバンド）+スタッフ

④ふたばねぶた（考案者：造形作家 工藤友哉）
11月21日（日）作り方マニュアル撮影



映像① あおもり子ども劇場 × 【おうちで A-Paradise2021】

あおもり子ども劇場との情報交換がきっかけで、A-Paradiseと子ども劇場の連携企画「子ども写真ワークショップ」が実現。A-Paraサポートスタッフを講師に迎え、インスタントカメラ「写ルンです」で撮影を楽しむ子ども達や、見守るおとな達を取材した。



映像② 大学生 & おとな × 【おうちで A Paradise2021】



青森中央学院大学ねぶた囃子方サークル、同じくアカペラサークル、青森大学生と地域活動者との絵本朗読企画、青森公立大学ダンスサークルを取材し、コロナ禍の活動を追った。



映像③ 学生団体 確原色 × 【おうちで A-Paradise2021】

「プレ10周年記念オンライン配信」

青森県内の高校生が主体的にダンスやバンド演奏などイベント発表を行う「学生団体 確原色」。感染症流行下で無観客での開催を余儀なくされた今年、A-Paradiseとの連携で、ライブ映像配信を実施した。当日はA-Paraバンドも出演。一部アーカイブ公開中。



④「ふたばねぶた」考案

ねぶたの技法を使ったオブジェを考案し制作キットを作り、作り方を説明するホームページコンテンツを作成することで、コロナ禍に蒔いた種が「アフターコロナ」に芽を出すイメージを共有できた。



令和3年度（2021年度）

絵本とステージ発表のイベント

「春待つ A-Paradise ～絵本がつなぐ しんまちキャンプステージ～」

目的

青森の絵本活動団体と連携し、街なかで絵本とステージを鑑賞できる“憩いのスポット”を創出する。出演者は公募とし、コロナ禍の表現の場とする。

効果

コロナ禍の集客イベント再開の第一歩として企画。広く市民に参加してもらい、共に楽しむことで、市の文化芸術と駅前地区の活性化ができた。

令和4年3月5日（土）12:00～17:00

3月6日（日）10:00～17:00

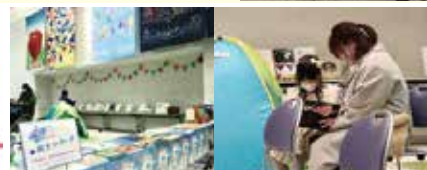
会場：新町キューブ・グランパレ

入場観覧料：無料

来場者数（2日間）：110名

協力：絵本カフェまりあんじゅ～る

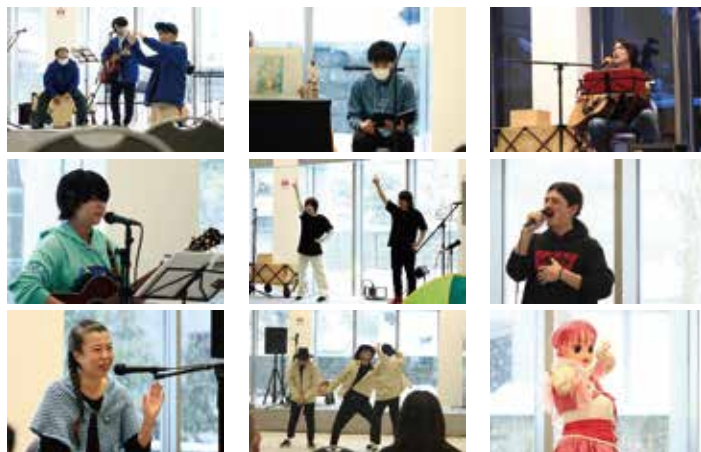
○総再生回数：871回 ※R5.4 現在



【絵本コーナー】160冊の絵本を自由に読めるコーナー。テント席には親子で入って絵本を読む姿も。絵本カフェ主宰の方が、その場でお子さんに絵本を読み語る場面もあった。利用者が読み終わった絵本は専用のかごへ入れ、スタッフが消毒。子どもが大好きな絵本からおとな向けまで、みんなが楽しめた。ある一冊の絵本と、イメージする音楽を選ぶ特別展示「絵本と音楽」コーナーもあり。



【キャンプステージ】公募などにより、音楽、朗読、ダンス、演劇などさまざまなジャンルの出演者13組が集合。ステージから客席まで5メートルの間隔を取り、観客は拍手で応援。



【キャンプステージ タイムテーブル】

Stage Program

※変更の場合あり

3月5日（土）
 12:45 オープニング
 13:00 まり & スズッキー
 13:30 なりこー
 14:30 声優劇団 津軽カタリスト青森支部
 15:00 ソプラノミニコンサート
 16:00 スズッキー
 16:30 アキ

3月6日（日）
 11:30 タカヤケン
 12:00 葛西啓生&太田佳孝
 13:00 雪ノ下すぐり
 13:30 nonfiction
 14:00 kieRa
 15:00 ゆうじろう(ex.ユミチャラティ)と松木亮太
 15:30 劇団エゴイスト
 16:00 クロージング



【ふたばねぶた制作キット販売】
 コロナ禍に「おうちで作れる何かをみなさんに」と、ねぶたの技法で作る“ふたば”のオブジェの制作キットを販売。考案は造形作家 工藤友哉さん。



REPORT

年度初めの「A-Paradise 情報交換会」でつながった「絵本カフェまりあんじゅ～る」と連携。SNSを通し「1組30分、ジャンル問わず」として出演者を公募した。コロナ禍で行う初めての有観客イベントだったため、感染症対策を徹底して実施。基本事項（検温・手指消毒・距離を保った観覧・飲食不可など）に加え、「出演者交代時のマイク・座席・絵本などの消毒」「感染不安による出演キャンセル受付」等を行った。

令和4年度(2022年度)

文化芸術創造活動助成事業

目的

青森の文化的資源の独自性と、文化芸術の持つ創造力を最大限に発揮する先駆的な事業を支え育てる。

効果

工芸品の伝承を呼びかけるフォーラム事業や中学校での演劇ワークショップ事業など、各事業に助成することにより青森市内の文化芸術の活性化に寄与した。

ざっぷ〜ん大波コース(単年度30万円まで助成)

「最後の傳令 菊谷栄物語 1937 津軽〜浅草 扉座ワークショップ」青森演劇鑑賞協会



【事業の目的・内容】

青森市出身の劇作家「菊谷栄」の生涯を描いた演劇公演「最後の傳令 菊谷栄物語」を開催することにより、戦前に日本を代表する劇作家として活躍しながら戦火の中に帰らぬ人となった「菊谷栄」の功績を時代を担う青少年など広く市民に伝えることを目的とした

公演を実施する。上記公演を主軸としながら「劇団扉座」の協力を得て、市内学生向けのワークショップを開催し、次世代を担う青少年が様々な形で演劇や文化に触れる機会を設けたい。

◇実施期間：9月17日(土)

◇実施会場：青森市立油川中学校 ・対象：油川中 演劇部員

◇ワークショップを劇団扉座の座員を講師に迎えて開催する。

◇ワークショップを通じて演劇に触れることを楽しむ。

ゆらゆら波乗りコース(3年連続30万円まで助成)

「善知鳥彫ダルマ」を世界に発信プロジェクト」特定非営利活動法人おどろ木ネットワーク



【事業の目的・内容】本事業は「善知鳥彫ダルマ」が生まれて101年目となる節目の年にプロジェクトを発足させ、「アート作品とのコラボ展」や「講演会・フォーラム」の開催、ホームページやSNSを活用して、「善知鳥彫ダルマ」の魅力の世界に発信し、地域に愛され生き続ける伝統工芸品「善知鳥彫ダルマ」として復活させ、青森市の魅力アップに繋げようとするものである。

◇実施期間：11月8日(火)

◇実施会場：アウガ5階男女共同参画プラザ AV 多機能 ホール「生誕百一年 善知鳥彫ダルマフォーラム」

① SNS キャラクターとのコラボ展

② フォーラム テーマ：善知鳥彫ダルマの新たなムーブメント

公開選考会(6/26開催)

申請件数：7件/助成件数：6件

助成総額：800,000円/助成上限率80%

選定委員：佐藤広野(あおもりアーツカウンシル会長)

高谷憲(同副会長)・杉山潔(同委員)・鳥谷部修(同委員)

若井暁(外部選定委員)

ちゃっぷん小波コース①(単年度5万円まで助成)

「小さなおくりもの2022 MOS 篇」MOS

【事業の目的・内容】メンバーで考えたストーリーからイメージするイラストを若い世代の方に描いていただき、絵、読み語り、音楽(ギターと歌)のコラボという形で、私たちが抱えている子どもたちへのメッセージを表現する。



ちゃっぷん小波コース②(単年度5万円まで助成)

「あおもり市民参加型ドラマリーディング公演」津軽カタリスト青森支部

【事業の目的・内容】「ドラマリーディング(朗読劇)」公演とオンライン配信を同時開催し、全世界へ向けて青森の魅力を発信したい。◇実施期間：9月19日(月・祝)◇実施会場：青森県総合社会教育センター大研修室(大ホール)



ちゃっぷん小波コース③(単年度5万円まで助成)

「まっくろな、こわいはなし(Jetblack story telling)」劇団青森どまんなか

【事業の目的・内容】おとなからこどもまで、楽しめる参加型の絵本読み聞かせ。◇実施期間：8月20日(土)◇実施会場：戸山市民センター◇絵本読み聞かせチーム「ブルーカレント」によるこわい話、紙芝居によるパフォーマンス



ちゃっぷん小波コース④(単年度5万円まで助成)

「展覧会アーカイブ活動」

Aomori Contemporary Photo Club



【事業の目的・内容】当クラブは作品のアーカイブが重要だと考えている。手稿、写真、映像など。青森のアーカイブシステムがうまく機能していないために、未来、教育普及や市民の創造性を高めることに繋がっていないのではないか。問題提起をしながら、活動の記録というものを公開したいと考える。

令和4年度（2022年度）

“創造の場づくり” 支援事業

「あおもりアートの種 A-seeds」プロジェクト：1年目

目的

市内で活動するアーティストや関係者と情報交換を行い、オンライン・オフラインで市内文化芸術活動が見渡せる環境づくりを3年計画で目指す。

効果

市民アーティストらが情報を共有したり、作品展示や販売を行う機会を作りながら、実情に合ったオンラインコンテンツの整備・公開を進められた。

REPORT

情報交換会では、市内美術アーティスト、美術にかかわるお仕事をしている人、美術が好きの人などが参加。淹れたて珈琲のいい匂いの中、自己紹介や作品紹介、「青森のアートシーンについてどう思う？」等、みなさんのお話を聴くことができ、創作した作品についても紹介を合った。作品展示販売会は1日限定の開催ということもありとても賑わい、喫茶スペースの飲食物はすべて完売。美術サロン機能のニーズの高さも再確認できた。「今回は見るだけだったが、また開催があれば青森アーティストの絵を買ってみたい」という声もあった。また、オンラインでの新コンテンツを整備しつつ、アートスポット登録を17地点から50地点に増やした。

【あおもりアートの種 A-seeds 情報交換会】対象：美術・デザイン・クラフト系作家、興味ある方

令和4年11月30日（水）19:00～20:45 「おしえて！青森のアーティスト自己紹介・他己紹介」：参加者 11名

12月15日（木）19:00～20:45 「おしえて！青森のアート・デザイン・クラフト近況」：参加者 9名

会場：リンクステーションホール青森 展示室



【A-seeds 作品展示販売会「一日限りの画廊めばえ」】

令和5年3月5日（日）10:00～17:00 会場：リンクステーションホール青森 展示室

来場者数：122名 売点数数：15点 売上総額：約10万円

同時開催「一日限りの喫茶めばえ」（ドリンク：NOPPO to COFFEE、焼菓子：cafe oink）

参加アーティスト：Rmoo、木戸永二、窪田梨絵、小林夏奈子、Nakaya、柳谷航野



あおもりアートフェスティバル



A-seeds

作品展示販売会

一日限りの「画廊めばえ-mebae」
この春、新しい生活にアートを飾ろう
～New life with art in this spring～



木戸永二



Rmoo



小林夏奈子



窪田梨絵



柳谷航野



Nakaya



こちらから視聴できます↓



令和4年度（2022年度）

パフォーマンスステージ&読み語りイベント

「A-Paradise2022 ～みんなのAを今持ち寄って～」

目的

コロナの见えない恐怖をただ恐れるのではなく、健康と安全のために必要な対策をきちんと行い、好きな芸術や音楽を心から楽しめる環境を生み出す。

効果

市民アーティストや公募による2つのステージの出演者らと共に、まちなかに楽しくエキサイティングな空間を作り上げ、発表機会と市街地活性を実現。

令和4年9月10日（土）12:00～19:00
9月11日（日）10:00～17:00

会場：新町キューブ・グランパレ
入場観覧料：無料 来場者数（2日間）：187名

視聴者数：876回（2日間） ※R5.4月現在
ハトねぶたオブジェ考案・制作：工藤友哉（造形作家）
ハトネブタ（小）制作協力：あもり子ども劇場
協力：絵本カフェまりあんじゅ～る・ONE BY PLACE
「A-Paradise」テーマ作詞作曲：エイイチロウ／ダンス振付：GAKU

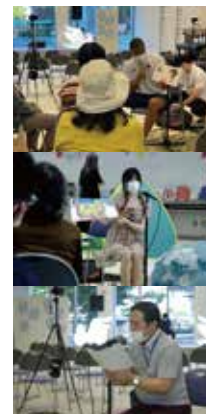
★メインステージ♪



【メインステージ】
市民アーティストや公募による15組が音楽・朗読・演芸・ダンス・パフォーマンスのステージを発表！アーティスト目当ての人はもちろん、通りを歩いていて音や踊りに誘われて入場する人も。YouTubeでのライブ配信も実施した。

★サブステージ♪

絵本読み語りオープンマイク
【サブステージ】
絵本の読み語り。当日飛び入りもOK。



発表！メインステージ

音楽、朗読、ダンス、演芸など市民アーティストや公募エントリーのみなさんによる2日間のステージ

9月10日（土）	12:15	なりこー（EWI演奏）
	13:00	オープニング：はじめてのはじまり
	13:45	山崎翔一（三味線）
	14:30	れみ（手話パフォーマンス）
	15:00	みかがみあかり（アニメソングカバーライブ）
	16:00	ピンクフェザー（音楽）
	17:00	うすくら屋（演芸）
	17:45	エイイチロウ（ギター弾き語り）
9月11日（日）	10:30	Time ruler（ダンス）
	11:00	アキ（ギター弾き語り）
	11:45	雪ノ下すぐり（美少女着ぐるみキャラクターショー）
	12:30	コミチャラティと鈴木亮太（ギター弾き語りなど）
	13:15	まり&スズッキー（絵本読み語り&ギター演奏）
	14:00	コスモス千重（朗読弾き語り）
	14:45	声優劇団「津軽カトリスト」青森支部（ドラマリーディング）
15:30	タカヤゲン（弾き語り）	
	16:15	クロージング：みんなで「A-Paradiseのテーマ」

★手作り楽器コーナー♪

「シャカジャカ」を作ってみよう！
① フィルムケースに、好きなものをいれてね。
② ペンで、もようをかいてね。



★展示コーナー♪

「ほらね、ここから会いに行こうよ」
A-Paradiseのあゆみ、などなど



★絵本コーナー♪

ご自由に、絵本をお読みください。
by 絵本カフェまりあんじゅ～る
子どもからおとなまで200冊以上の絵本が読み放題！



REPORT

平和を願う大小の「ハトねぶた」で飾られた会場には、音楽・ダンス・朗読・漫才など、公募出演者を中心としたメインステージと、絵本読み語りオープンマイク（自由参加）のサブステージを設置。絵本コーナーでは200冊以上の絵本に触れることができ、親子を中心に手作り楽器作りも好評だった。事前にテーマ曲のオリジナル振付動画を作成・公開して、最終日クロージングではメンバーと共に来場者が踊り、会場は一体となった。

令和4年度（2022年度）

アート&クラフト系イベント

「冬の A-Paradise ～ぼくらの創作体験カフェ～」

目的

青森の伝統工芸である「こぎん刺し」や、ナンシー関（青森市出身）が広めた「消しゴムはんこ」、雪の結晶の「切り絵」等、創作により気軽に親しんでもらう。

効果

ふらっと立ち寄れて珈琲を飲みながら創作体験ができる駅前のスペースということで、老若男女に気軽に参加していただき、青森の工芸の体験・周知ができた。

【ふらっと寄れる創作体験カフェ】

体験メニューは4つ。「こぎん刺し」「消しゴムはんこ」「墨絵」「切り絵」の中から、体験したいメニューを選んで、テーブルへ。A-Paradise スタッフが、道具の準備や、作り方の手順などを説明しサポート。大学生スタッフが小学生にこぎん刺しを教える場面もあり、会場にはDJさんによる楽しい音楽も流れていい雰囲気。できあがった作品は持ち帰ったり、「切り絵」は会場のどこかに貼ったり、どんどんすてきな場所ができあがっていった。



令和5年2月18日（土）11:30～17:00

2月19日（日）10:00～17:00

会場：青森市役所駅前庁舎アウガ1階 駅前スクエア

入場参加料：無料（フード・ドリンク・アート作品など有料販売有）

来場者数（2日間）：278名

- ・創作体験メニュー監修およびワークショップ講師
Gardengarden rei（こぎん刺し）／マル（消しゴムはんこ）
山谷悠地（墨絵）／絵本カフェまりあんじゅ～（切り絵）
- ・出店者：フード・ドリンク：NOPPO to COFFEE、古民家カフェ apricot、スイーツキッチン 761
作家：Gardengarden、ハクセキレイ、山谷悠地
- ・参加アーティスト：NOZ
- ・協力：あおもり子ども劇場・絵本カフェまりあんじゅ～・まちなかしかへらあ～s、ONE BY PLACE

【予約制ワークショップ】

ふらっと予約無しでできる体験カフェとは別に、事前に参加者を募って「予約制ワークショップ」も開催。こぎん刺しは、あおもり子ども劇場の親子を中心に体験した。消しゴムはんこは大人気で、墨絵は高校生以上限定で落ち着いた雰囲気で開催。

【協力団体による展示コーナー】

A-Paradise を支えるサポートメンバーや協力団体による展示。「絵本カフェまりあんじゅ～」による「冬の絵本コーナー」も♪



【フード・ドリンク・作家による出店コーナー】

創作体験をしながら、珈琲を飲みたい…そんな願いを叶えるため、NOPPO to COFFEE（全日程）、古民家カフェ apricot（1日目のみ）、スイーツキッチン 761（2日目のみ）が出店協力！両日ともにフード・ドリンクは、ほぼ完売状態。アート系の出店として、こぎん刺し講師 Gardengarden さん、墨絵講師の山谷悠地さん、手作りバッグのハクセキレイさんが共にイベントを盛り上げてくれた。



【みんなで一つの作品を NOZ さんと作ろう】

アーティスト NOZ 制作の「A」パネルに、創作体験カフェでできあがった消しゴムはんこ作品をべたべた、自由にお絵かきもアリ。



REPORT

珈琲を飲みながら、創作体験ができるカフェを2日間開催。冬のアート&クラフト系イベントとしては、前回「版画喫茶」（H30・R1年度）以来、コロナ禍を経て3年ぶりとなり、開催を心待ちにしていた方も多く、オープンと共にたくさんの来場者でにぎわった。ふらっと寄れる創作体験カフェでは、事前にかぎん刺しや消しゴムはんこ等の作り方の講習を受けた A-Paradise スタッフが創作への誘導やサポートを行った。



あおもりアーツカウンシルでは、ホームページや SNS、YouTubeCH で情報発信中。その一部を以下に紹介する。

あおもりアーツカウンシル HP コンテンツ

● **アートな「人」紹介** 2017-2022 公開分

* 青森県内で活躍中の、アーティストやアートに関わる人を取材。



金子由紀子

金子 由紀子さん (青森公立大学国際芸術センター青森 学芸員)※当時



佐世子風

佐世子風さん (青森サパカル倶楽部)



工藤 友哉

工藤 友哉さん (造形作家)



三村 紗瑛子

三村 紗瑛子さん (画家)



白戸 是るみ

白戸 是るみさん (AIRS 会長)



出崎 真里

出崎 真里さん (絵本活動家)

● YouTube コンテンツ 2022 公開分

「あおもり
アート & カルチャー
NEWS」

* 令和3年度“創造の場づくり”支援事業として制作発表した YouTube コンテンツ。令和4年度以降も、青森市内の文化芸術活動に注目し、5分間のニュース映像を制作して公開している。

● 令和4年度
「演劇」は人間であることを思い起こす装置」
劇団扉座 × 青森演劇鑑賞協会



令和4年秋。
油川出身の喜劇作家“菊谷栄”を、地元の生徒たちにも知ってもらいたい」と、青森演劇鑑賞協会が企画した劇団扉座による演劇ワークショップを映像に残した。

【出演】
劇団扉座 主宰：横内謙介
劇団扉座 団員／ワークショップ講師：田中信也
青森演劇鑑賞協会 事務局長：前田哲志
青森市立油川中学校 演劇部のみなさん
ナレーション：あおもりアーツカウンシル会長：佐藤広野



あおもりアーツカウンシル とは

地域の文化的資源に新たな光を当て再構築し、さらに質の高い独自の文化・芸術の創造を推進することで魅力あるまちづくりを進めていく事を目的に結集した団体で、文化芸術と社会を結びつける活動を行なっています。

2013年7月に前身団体「アートでオン！」が発足し、2017年に「あおもりアーツカウンシル」と改名。

“文化芸術都市・青森”の実現に向かって、青森市とともに活動を続けています。

あおもりアーツカウンシル 委員紹介 2023.4月現在

会 長	佐藤 広野（青森県立黒石高等学校 情報デザイン科 教諭）
副会長	高谷 憲（青森演劇鑑賞協会 会長／A-Paradise 部会長）
委 員	奥脇 嵩大（青森県立美術館 学芸主査）
委 員	武田 勇紀（HIRANAI Project REbirth）
委 員	竹浪 比呂央（竹浪比呂央ねぶた研究所 代表／ねぶた師）
委 員	東條 英哲（青森市教育委員会事務局 文化学習活動推進課 課長）
委 員	烏谷部 修（一般財団法人青森市文化観光振興財団 常務理事）
委 員	沼田 祐寛（株式会社丸石沼田商店 取締役社長）
委 員	村上 綾（青森公立大学 国際芸術センター青森 学芸員）
監 事	嶋中 克之（行政書士）

発行 あおもりアートカウンシル
 青森市堤町一丁目4番1号
 リンクステーションホール青森（青森市文化会館内）
 017-773-7304
<https://aomori-artscouncil.jp/>
 令和5年6月発行



P 01



P 02



P 03



P 04



P 05



P 06



P 07



P 08



P 09



P 10